

2000 誌

N I S E N S H I

KAGOSHIMA ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF YOUTH GROUP

NISENSHI vol.48 2022 spring

2022年3月31日発行

発行：一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会

048 / 第48号



□ 「K 様邸」 鹿児島市小松原 - 株式会社田川組

周田を道路に囲まれた市街地に建つビルトインガレージ付の住宅。
2階リビングは、プライバシーを確保しながらも開放感があり、
ご家族がゆったりと過ごせるつくりとなっています。



REPORT

- 鹿児島県建築協会青年部会 **令和3年度 臨時総会**
 - 経営者講習会 **BIM 研修会～来るべき時に向けて～**
- 活動報告 ▷ WEB 発信セミナー ～建設業向けソリューションシステム～
▷ 学生との交流会 in 鹿屋工業高校

- 青年部会 役員ご挨拶
部会長挨拶 / 各委員長挨拶
- 2000 誌ランダムコラム
「人」マル川建設株式会社 川原大地

「BIM 研修会～来るべき時に向けて～」

02 REPORT

令和3年9月22日（水）、城山ホテル鹿児島アメジストにて「BIM 研修会」を開催しました。今回は2部構成の研修会となっており1部では株式会社アイエイリ・ラボの冨田太様にご講演をして頂き、2部では福井県に本社を構える見谷組様にご講演をして頂きました。

1部でご講演された冨田太様にはBIMを活用した建築業がこれからのように変化していくのかを話して頂き、2部でご講演された見谷組の担当者様には実際にBIMを導入してどのように活用しているのかを説明して頂きました。

技術の変化が著しい昨今、国土交通省、防衛省及び鹿児島県においてもBIMシステムによる生産性の向上に注目しています。今後は、官民を問わず建築生産プロセスにおいてもBIMシステムに適切な技術力が必要になってくるのが予想されます。参加された企業にとって実りのある研修会になりました。

経営者研修会の実施

令和3年度 臨時総会

01 REPORT

「役員改選。新たに8人の理事を選任」

令和4年1月27日（木）、令和3年度鹿児島県建築協会青年部会臨時総会を開催しました。

議事では佐々木祐輔氏を議長に任期満了に伴う次期理事選任などを審議しました。そこで8人の新理事を選任し互選で新部会長と副部会長を承認しました。コロナ禍で様々な制限がある中で任期を務めた宇都部会長は「2年間悔いなくやり切りました。各理事、部会員、周りの皆様のおかげで様々な事業ができました。」と謝辞を述べました。新部会長の重留部会長は「よき先輩に出会えて今の私にここにあります。入ってよかったと思ってもらえるような青年部会にしたい。」と挨拶をしました。

次期役員は次の通りです。

部会長 重留巧治（重留建設）
副部会長 近藤慶太郎（田川組）、山口秀典（ヤマグチ）、中池竜介（中池組）
委員 田頭謙一（田頭建設）、中村俊仁（協和建設）、吉留祐介（久徳建設）
監事 内山吉二（内山組）、田島功輔（田島組）、前田忠倫（前田組）



■ 研修会の様子



■ BIM 研修会



■ 部会長挨拶



■ 新部会長挨拶

建設業向けソリューションシステム勉強会

WEB発信セミナー

令和3年12月23日(木)、建築協会会議室にて、毎年開催しているWEB発信セミナーを行いました。今年度は「建設業向けソリューションシステム勉強会」をテーマとして株式会社ミロク情報サービスの盛島美春様、田淵省大様に講師として講演をして頂きました。

前半は「電子帳簿保存法」による電子取引の電子データ保存義務化への対応について説明して頂き、後半においては電子請求書や契約書の請求書等、実際にそれらのシステムを活用した企業の例を踏まえながら講演して頂きました。

会員や関連企業からは約20名参加して頂き、今後の建築業の動き手の不足に対する一つの可能性として理解を深めました。

04

学生との交流会

in 鹿屋工業高校

令和4年3月18日(金)、鹿屋工業高校にて青少年育成事業として毎年恒例になっている学生との交流会(訪問型)を行いました。建築学科の1年生にまず初めに建築業務の内容や施工管理の説明をするプレゼンを行い、後半は実際に現場で働いている大工の皆さんと一緒に鉄筋を結束して、その後墨出しをする施工体験をしました。

担任の平岡先生は「1年生にとって現場で働いている職人さんと施工体験できる貴重な機会であるので毎年楽しみにしている。」とこの交流会の重要性を話してください、生徒の外西さんは「今後建設会社に入ったときにどのような仕事をするかわかったのととてもためになりました。」と目を輝かせて話してくれました。



GREETING

ご挨拶

総務・IT委員会

株式会社川原建設
塚田 哲也



■ この経験を活かして貢献を

例えば2年前に宇都部会長に直接電話をいただき「大丈夫、大丈夫、何とかなる。よろしく!」から始まった総務・IT委員長でした。

2000誌の発行、総会の運営、WEB発信セミナーの開催等、様々な事業に携わらせていただきました。初めてだらけのことで四苦八苦しながらどうにか事業を完遂することができました。初めての委員長としての不安、しかもコロナ禍にあり、制限がある中で委員長として何とかしたのは、部会長をはじめとした理事の皆様や委員会の皆さんの助けがあったからだと思えます。このような機会を与えてくださったに皆様に感謝しています。

この経験を活かして青年部会及び業界に貢献できればと思います。長いようで短かった2年間でしたが本当にありがとうございました。

会員研修委員会

株式会社田川組
近藤 慶太郎



■ 青年部会としての存在価値

この2年間はコロナに悩まされる2年間でした。そんな中、委員会メンバーや青年部会員の皆様のご理解とご協力を頂きまして最後までやり抜くことができました。

委員会事業としては経営者としての基本知識の習得や、BIMに関する研修会を行い部会員やOBの皆様にも会社経営に役立ててもらえるよう構築してまいりました。コロナの影響もありオンラインを活用した研修会など、これまでと違った設えになり委員会メンバーの皆さんにも大変ご苦労をおかけしましたが、大きなトラブルもなく無事に事業を行えました。この2年間の経験をしっかりと引き継ぎ、青年部会をより存在価値のある組織にしていきたいです。2年間本当にありがとうございました。

活動委員会

株式会社久保工務店
久保 廣之進



■ 2年間ありがとうございました

2年という任期の中で、委員長として何ができたのかを考えました。就任当初は、思い切って色々なことに挑戦しようと思いましたが、様々な壁に当たってしまいました。コロナの影響もその一つです。外部との交流が多いこの委員会は、自分たちの考えだけで物事を進めることはできませんでした。今思えば、WEB開催を中心として...など様々な思いが廻ります。

このような中で2年連続「学生と語る会」を開催させて頂いた鹿屋工業高校様には感謝の気持ちでいっぱいです。委員長としての2年間で多くの方に出会い、お力添え頂きました。結果を残すことはできませんでしたが、この経験を活かし返してできるように努力していきたいと思えます。県内の学生が一人でも多く、建築業界に魅力をもち共に働くようになることを切に願います。

一般社団法人鹿屋島県建築協会青年部会

部会長 宇都 孝洋 株式会社宇都組



■ 青年部会ならではの活動と更なる発展を

私が青年部会部会長を拝命致しまして、あっという間に1期2年間が経ちました。その間、青年部会員をはじめ、多くの皆様のご協力により、コロナ禍という厳しい状況ではありましたが様々な事業を開催できたこと実感しており心から感謝申し上げます。

部会長就任当初より「若年技術者の育成」「建築業に携わる必要不可欠な知識の向上」今後の建築業界の発展を見据えた「会員同士の親睦」を事業計画の3本の柱として事業を計画実施させていただきました。

しかしながら、コロナの感染拡大防止により、事業の自粛、計画の見直しが行われる場面、難しい判断に迫られる場面も多々ありましたが、理事役員の皆様方のご協力により、実りある事業が実施できたこと確信しております。

新年度に入ると理事役員も変わり、新たな体制での青年部会が始まります。建築業界を取り巻く環境はコロナ禍の影響もあり「テレワークの推進」「働き方改革」「CCUS」「BIM」「インボイス制度」「資材の高騰」等、非常に早いスピードで変化し続けています。

その流れに乗り遅れないよう、情報の発信・共有化を図るとともに、青年部会ならではの活動、そして今後の建築協会の更なる発展を期待しております。

OTHERS

2000誌のランダムコラム

「人ひと」

MARUKAWA—マル川建設株式会社— 川原大地

一生懸命だと知恵が出る
中途半端だと愚痴が出る
いい加減だと言いつけが出る



戦国時代の武将、武田信玄が残した有名な言葉です。400年以上前に語られた言葉ですが「確かに!」となっています。

「これだけいろんなことが発展しても、人の心の奥底は400年以上前からあんまり変わってないんだな...」そう思いつつ自分のことを思い返し、反省。

武田信玄は人の心や能力を見極めることに長けていたようで他にも多くの言葉を残しており、どれも考えさせられるものばかり。400年以上の未来にもつながる言葉。

一度きりの人生、一生懸命に生きて未来に残るカッコイイ言葉を語ってみたいものです。

信玄師匠の言葉の意味を考えながら、なぎさ温泉(枕崎市)の湯に浸かる。海と山と街が一望出来て解放感が最高です。おすすめの時間帯は日の入り前。一生懸命だと夕日が心に沁みます(笑)

■ ボランティア活動



令和4年1月27日(木)に青年部会員21名でボランティア活動を行い、主に天文館周辺のゴミ拾い活動を行いました。ご参加頂いた部会員の皆様有難うございました。

私達の仕事は地域と共にあってこそです。青年部会は、地域への貢献活動も積極的に行っています。